

# 国立妙高青少年自然の家職員募集要項（パートタイム職員）

職 種	事務補佐員（パートタイム職員）
採 用 人 数	1名
業 務 内 容	<p>施設利用者対応業務及び主催事業等の事務補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宿泊棟の清掃点検</li> <li>・ 利用者受け入れに係る書類作成</li> <li>・ 業務システムへのデータ入力</li> <li>・ チェクイン・チェックアウトや滞在中の窓口対応</li> <li>・ 事業等の運営補助</li> <li>・ 屋外施設・フィールドの点検・整備作業 等</li> </ul> <p>【変更の範囲】 変更なし</p>
応 募 条 件	<p>①パソコン操作（基本的な操作や Word での文書作成、Excel での入力作業等）が支障なくできる者</p> <p>②利用者と積極的にコミュニケーションが図れ、基本的なビジネスマナーを有し、協調性のある者</p> <p>③自動車通勤可能な者（AT 限定可）</p>
契 約 期 間	<p>令和8年7月1日～令和9年3月31日</p> <p>契約の更新：契約を更新する場合がある。 （年度契約。業務量、勤務成績、勤務態度、職務遂行能力、予算の状況等により判断。）</p> <p>更新の上限：有（更新回数は2回を限度とし、契約期間の上限は原則令和11年3月31日までとする。）</p>
試 用 期 間	採用の日から14日間（労働条件に変更なし）
就 業 場 所	<p>【雇入れ直後】 国立妙高青少年自然の家（新潟県妙高市大字関山6323-2）</p> <p>【変更の範囲】 変更なし</p>
勤 務 日	週あたり5日 ※4週間ごとに割り振る（土日祝日勤務あり）
休 日	週休日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
就 業 時 間	<p>8時15分～15時15分間の6時間（休憩時間を除く。）</p> <p>※降雪期（12月下旬～3月）は、早出当番（7時45分～14時45分）あり</p>
休 憩 時 間	<p>12時00分～13時00分間の1時間</p> <p>（昼当番時は11時00分～12時00分が休憩時間となる）</p>
時 間 外 労 働	業務の都合により、発生する場合あり（月平均2時間）
休 暇	<p>年次有給休暇・特別休暇あり</p> <p>※年次有給休暇は採用時に付与、その後は契約更新時に付与</p>

賃 金 (令和6年5月現在)	独立行政法人国立青少年教育振興機構非常勤職員給与規程に基づき支給 基本給：時 給 1, 0 6 6 円 諸手当：通勤手当 月額上限 3 8, 7 0 0 円（自動車等の場合） 月額上限 1 5 0, 0 0 0 円（公共交通機関の場合） 賞 与：なし 支 給：毎月末締め、翌月17日支給
加 入 保 険	雇用保険、労災保険、厚生年金、健康保険（文部科学省共済）
提 出 書 類	○履歴書（市販のもので可。顔写真貼付） ○職務経歴書（様式は任意）
応 募 方 法	<b>1. メールでの提出の場合</b> 応募書類をPDFファイルに変換し、下記担当宛に送信 ※メールの件名とファイル名は、ともに「非常勤職員採用応募書類（氏名）」としてください。 <b>2. 郵送での提出の場合</b> 「採用応募書類在中」と朱書きし、下記担当宛に記録が残る方法（簡易書留やレターパック等）で郵送
応 募 締 切 日	令和8年5月26日（火） 必着
選 考 方 法	(1) 一次選考 書類選考 (2) 二次選考 面接 ※二次選考の日程は、一次選考合格者に個別に連絡します。 ※面接は、令和8年5月28日（木）に予定しています。 （面接日については要相談）
担 当	〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2 国立妙高青少年自然の家 総務係職員採用担当 宛 Tel 0255-82-4324 Mail myoko-so☆niye.go.jp（☆を@に変換して送信してください。） ※上記担当のメールアドレスからの連絡を受信できるように設定してください。
個人情報取扱い	応募された方の氏名、住所、電話番号、メールアドレス、学歴、職歴等の個人に関する情報（以下「個人情報」という。）は今回の公募のみに使用する目的で収集するものであり当機構の責任の下で厳重に管理します。 また、不採用になられた方の個人情報は、当機構の責任において、適切に破棄・消去します。
募集者名称	独立行政法人国立青少年教育振興機構
受動喫煙防止措置	敷地内禁煙 / 屋内禁煙
国立青少年教育振興機構 概要	当機構は青少年教育のナショナルセンターとして、青少年や青少年教育関係に対し、教育的な観点から一貫性のある体験活動や研修の機会を提供するとともに、青少年教育に関する調査研究、青少年団体・施設等の連絡・協力の促進、青少年教育団体への助成を通じて我が国の青少年教育の振興および青少年の健全育成を図ることを目指しております。 また、全国に28の教育施設を有し、ボランティア活動や就労体験といった交流体験や、野外活動や環境学習といった自然体験など、立地条件を活かした特色のある活動を展開しています。  【 <a href="https://www.niye.go.jp/about/history.html">https://www.niye.go.jp/about/history.html</a> 参照】